

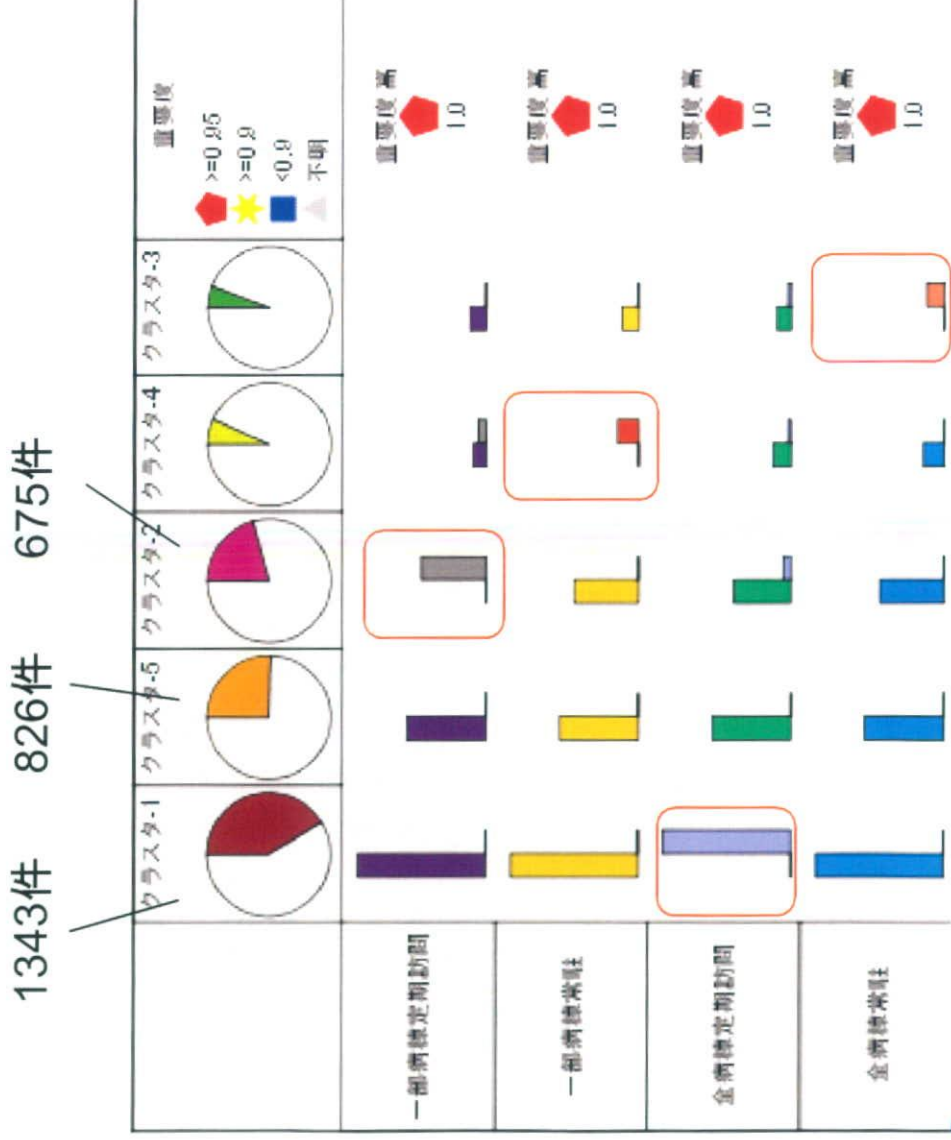
一部病棟定期訪問

クラスター	レコード	項目	割合		
クラスター-1: 2477	レコード	一部病棟定期訪問_薬剤管理指導	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_調剤	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_注射薬取揃	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_注射無菌調製	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_配薬	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_カンファ	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_回診同行	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_病棟在庫管理	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_疑義照会	0 -> 100%		
		一部病棟定期訪問_薬歴入力	0 -> 100%		
		クラスター-2: 774	レコード	一部病棟定期訪問_薬剤管理指導	1 -> 91.34%
				一部病棟定期訪問_調剤	0 -> 88.89%
				一部病棟定期訪問_注射薬取揃	0 -> 84.75%
一部病棟定期訪問_注射無菌調製	0 -> 95.87%				
一部病棟定期訪問_配薬	0 -> 85.14%				
一部病棟定期訪問_カンファ	0 -> 66.93%				
一部病棟定期訪問_回診同行	0 -> 82.04%				
一部病棟定期訪問_病棟在庫管理	1 -> 64.47%				
一部病棟定期訪問_疑義照会	0 -> 67.57%				
一部病棟定期訪問_薬歴入力	0 -> 86.95%				

一部病棟への定期訪問なし

薬剤管理指導
病棟在庫管理
を主に実施

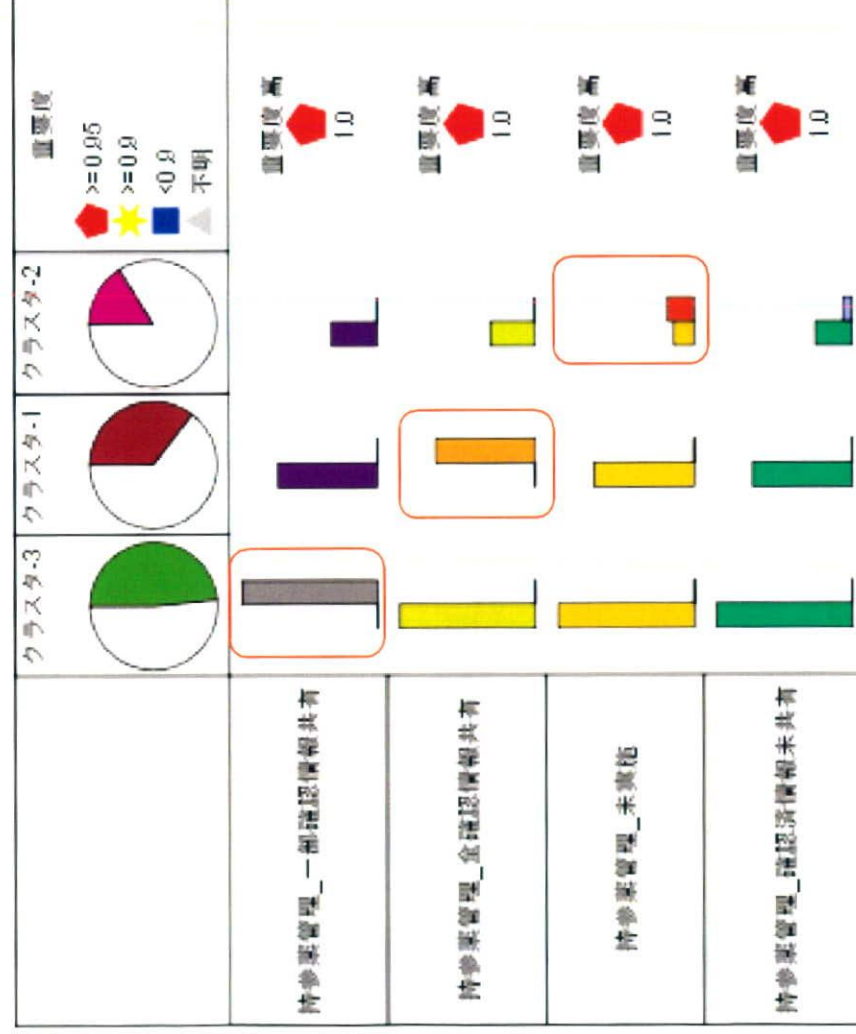
常駐・定期訪問



薬剤師が全病棟を定期訪問する場合が最も多く、続いて病棟への常駐や定期訪問をしていない場合が多い。

入院患者の持参薬管理

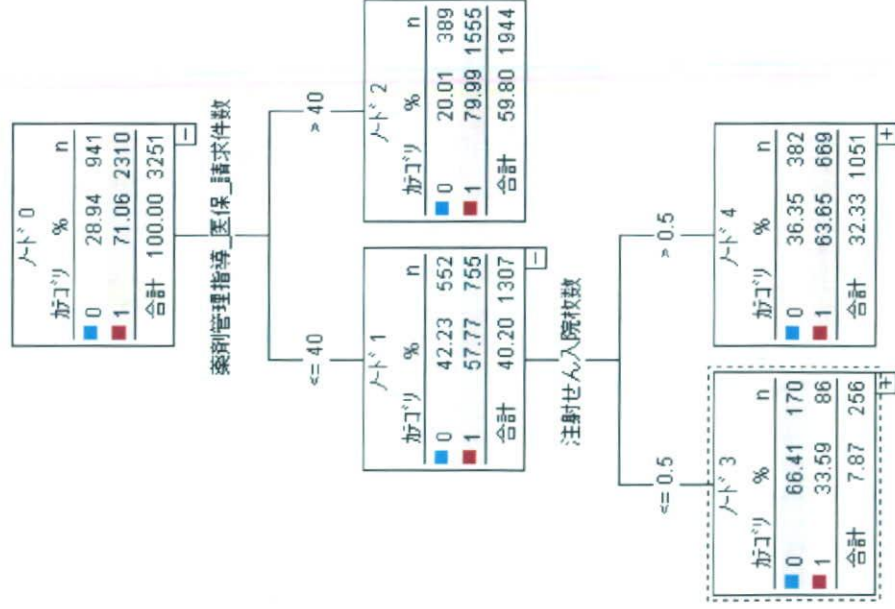
1573件 1152件 526件



一部の入院患者に実施している
 場合がもっとも多く、
 全入院患者に実施している
 場合が続いている。
 未実施ケースは比較的少ない。

注射処方箋用量記載(1回分)

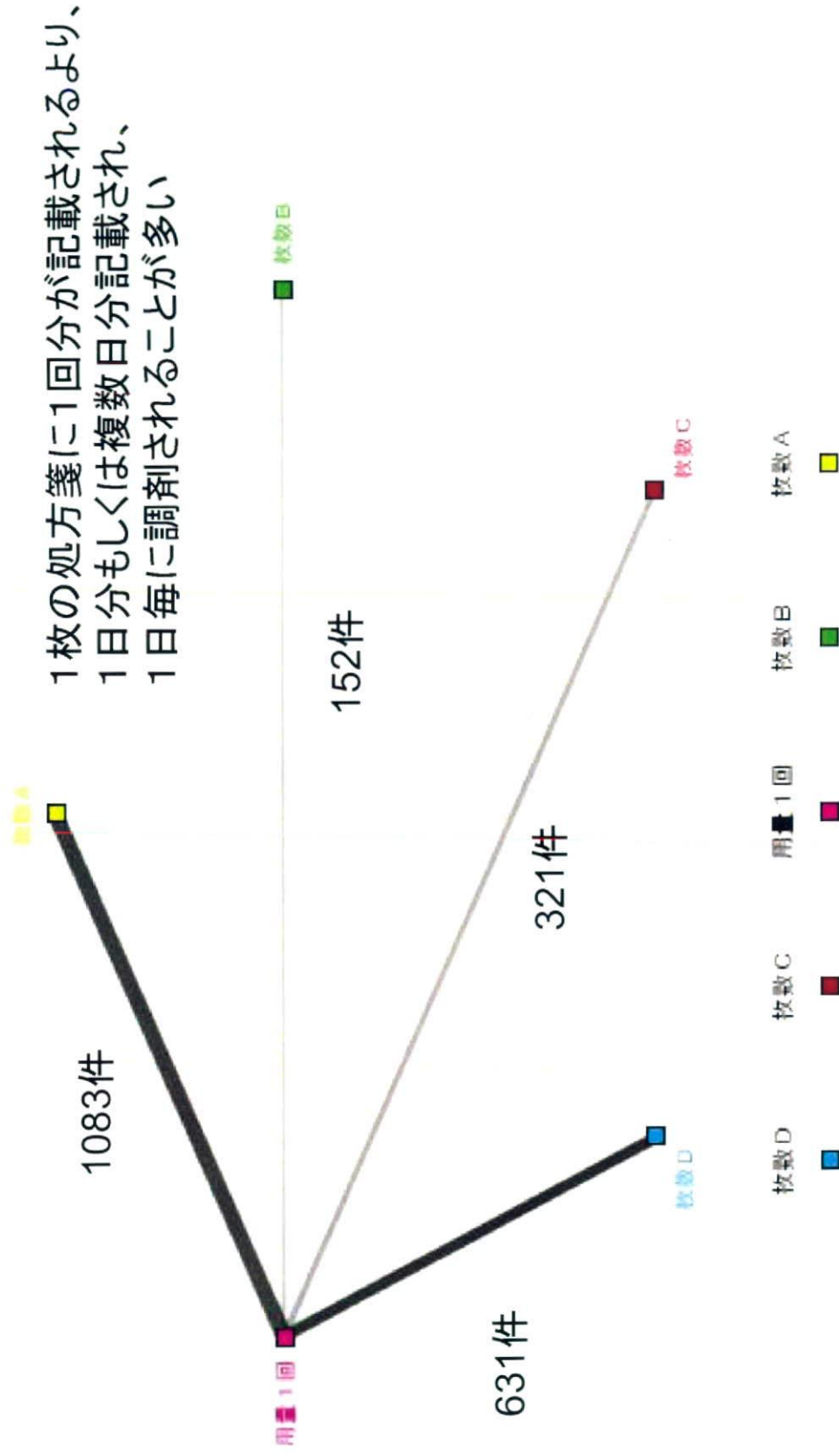
\$C-用量1回



薬剤管理指導に係わる医療保険請求件数が多い場合や、入院患者の注射箋が多い場合に1回分記載を行っている傾向あり

C5.0にて分析(独立変数:用量記載1回、説明変数:全連続変数
ただし、薬剤指数は常勤・非常勤の合計)

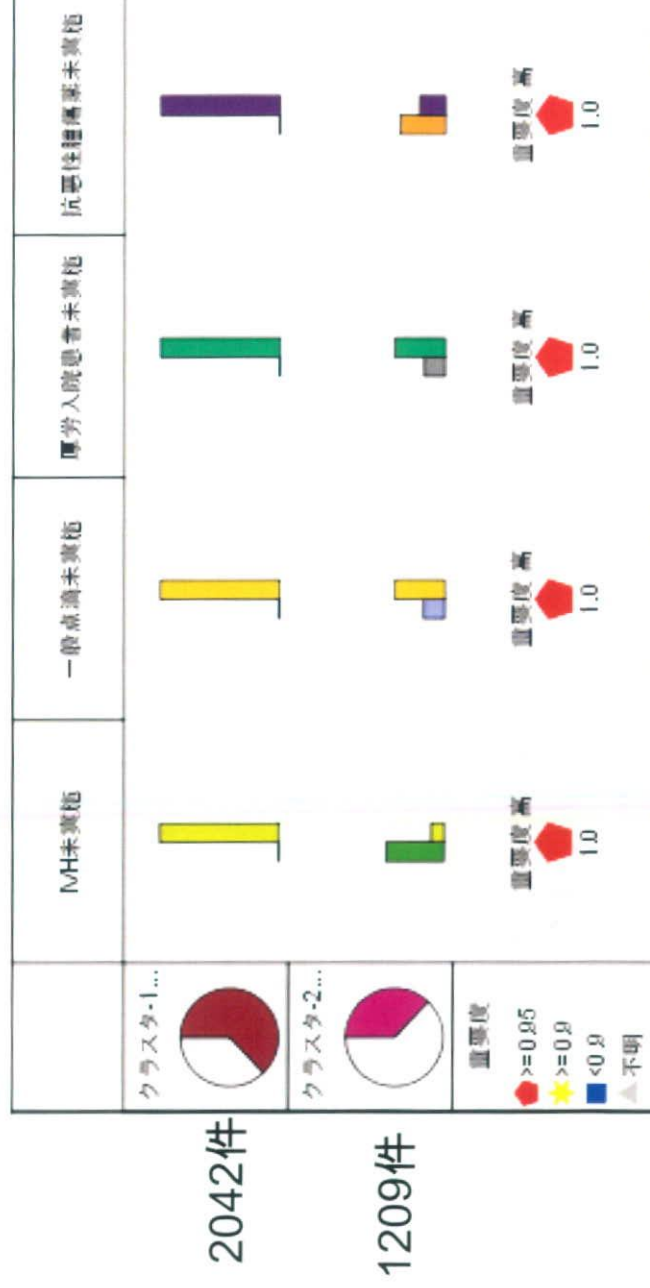
用量1回分記載と 枚数の数え方の関係



注射混合業務(無菌製剤処理)

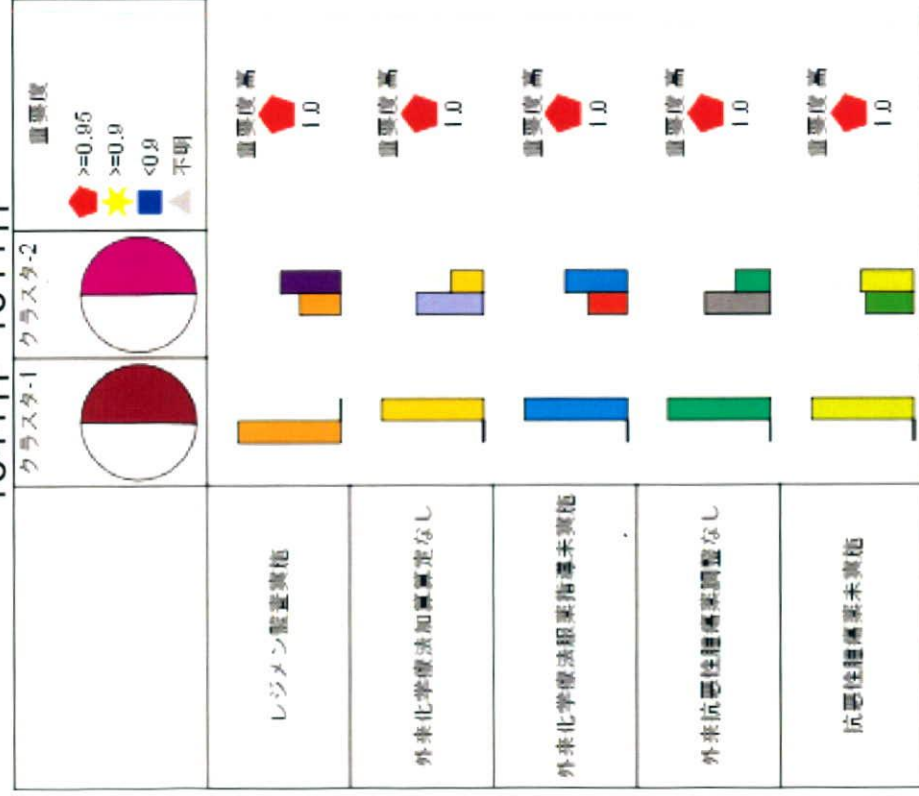
注射混合業務に関するいずれかの業務を行っている組織(約37%)と全く実施していない組織に分類される

Two Step
Two Step



がん化学療法の実施

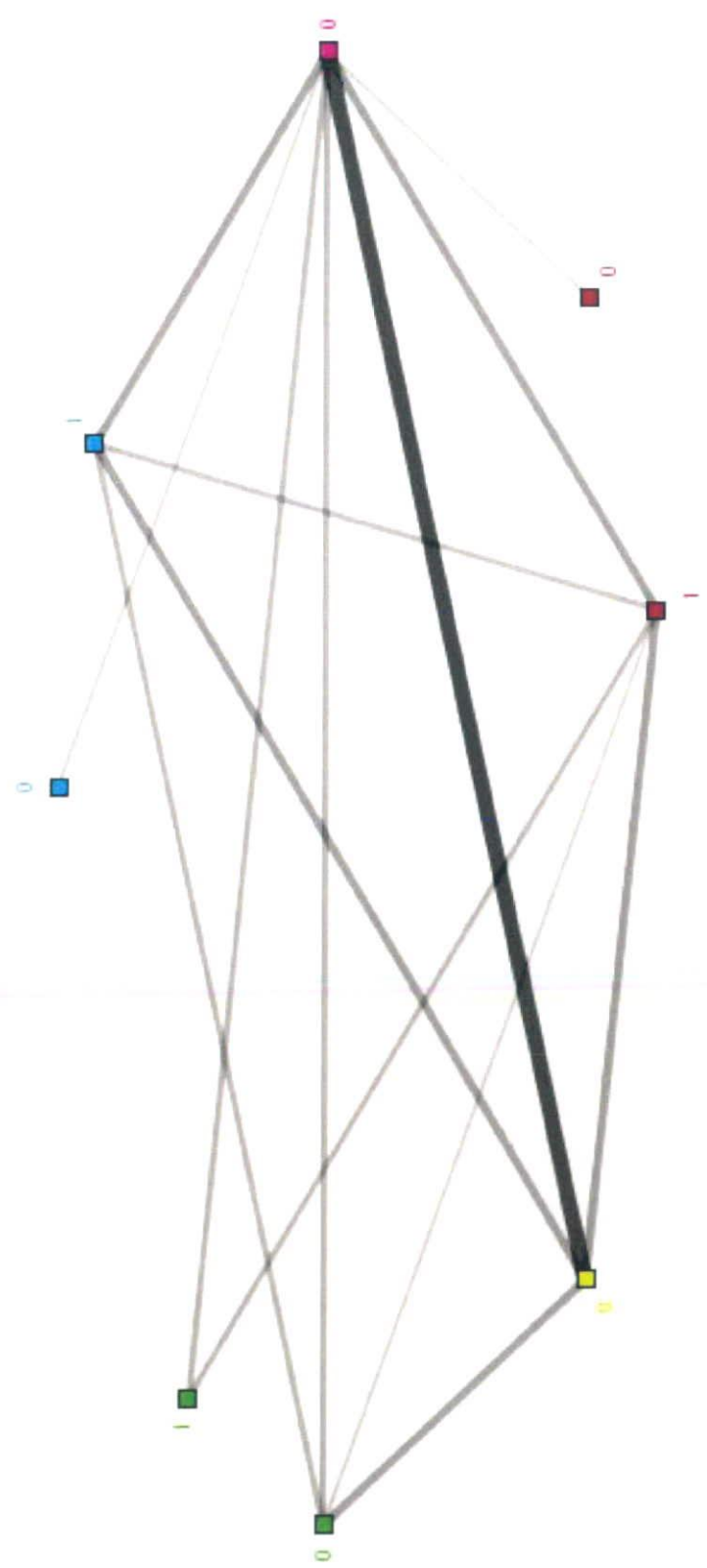
1641件 クラスター1 1611件 クラスター2



がん化学療法に関して、
全く実施していないクラスターと、

- レジメンによる監査
- 外来化学療法
を実施しているクラスター
(服薬指導は比較的少ない)

に分類できる

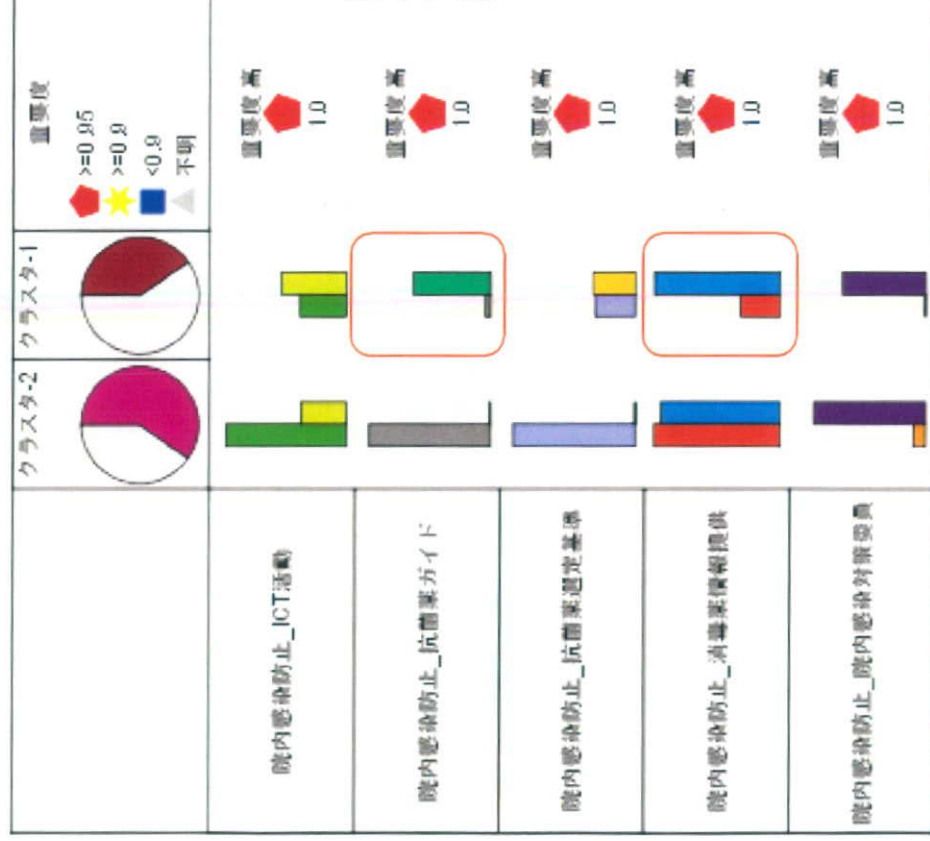


- レジメン監査実施 ■
- 外来化学療法服薬指導未実施 ■
- 外来化学療法加算算定なし ■
- 抗悪性腫瘍薬未実施 ■
- 外来抗悪性腫瘍薬調整なし ■

集学的医療推進による安全性 の確保

院内感染防止

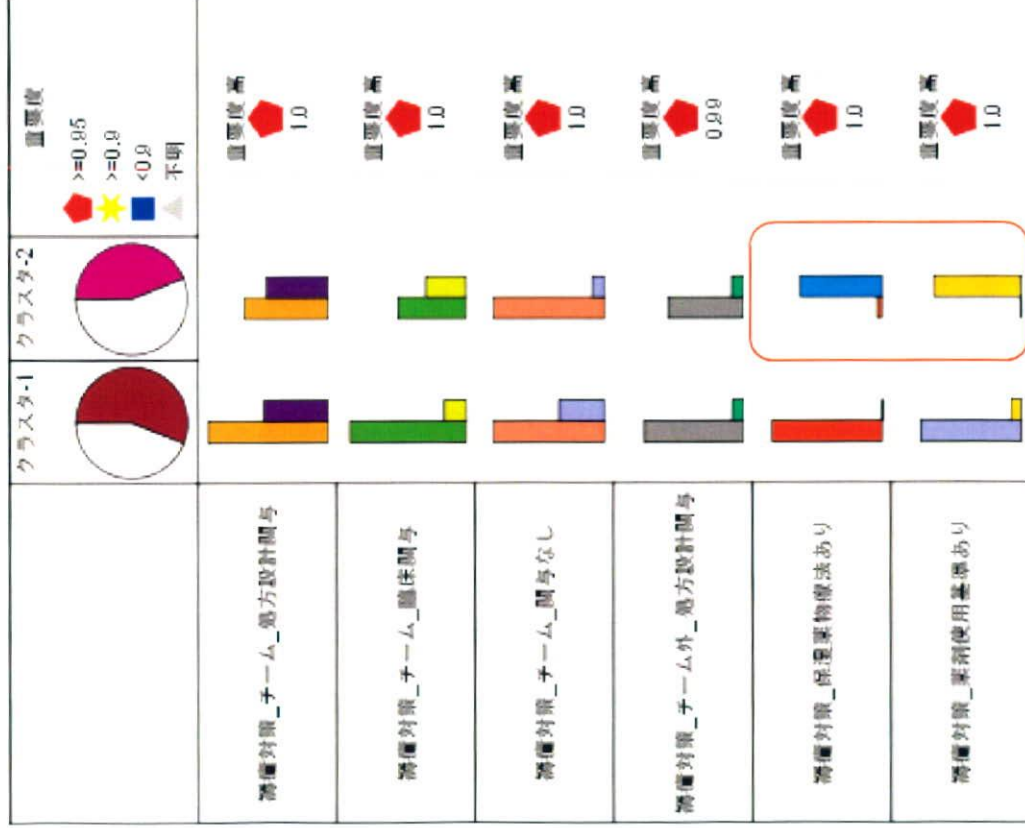
1942件 1309件



約37%が抗菌薬ガイドラインがあり、消毒薬に関する情報を薬剤部から提供している

じょく瘡関連業務

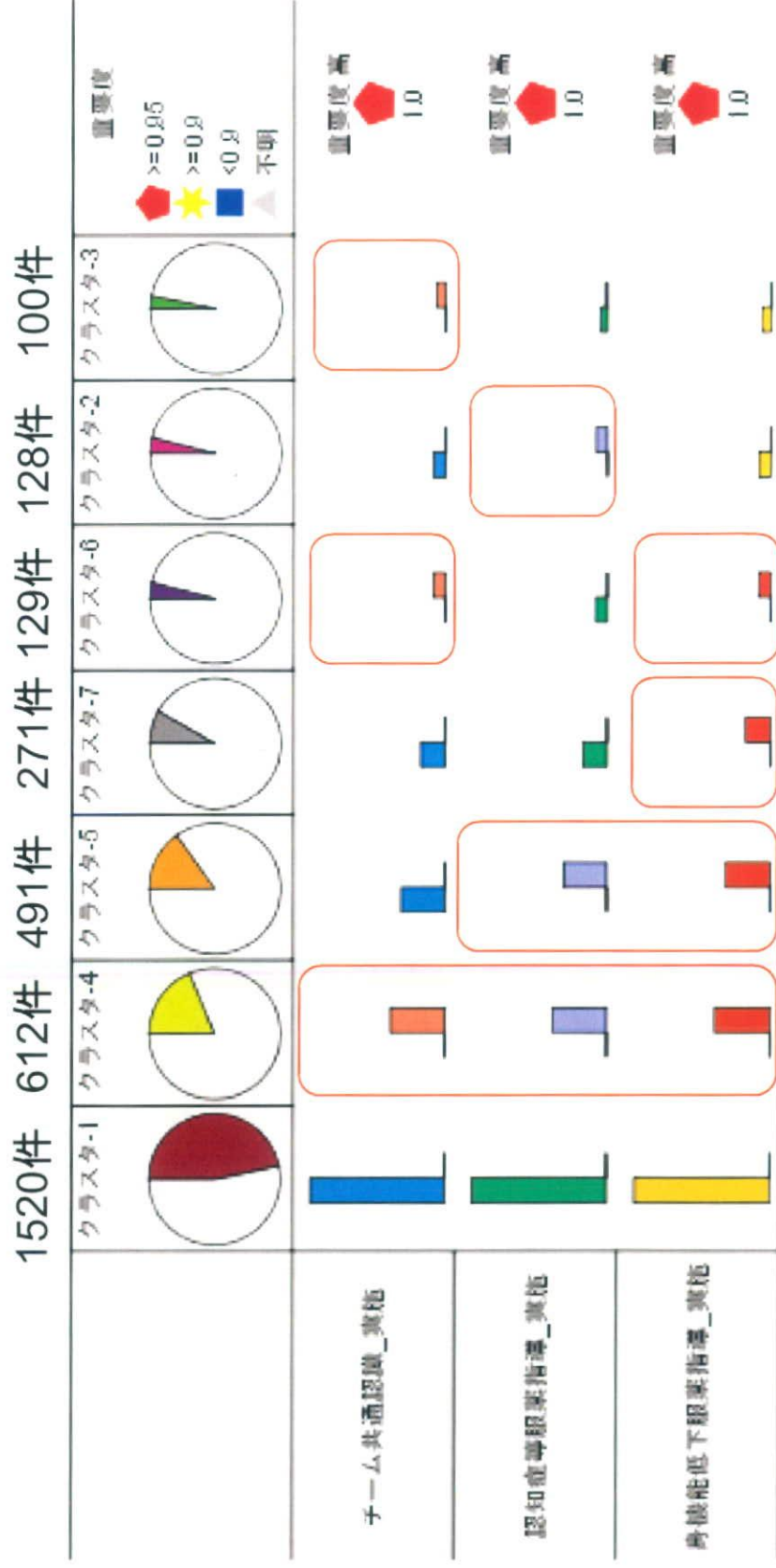
1823件 1428件



じょく瘡対策に関して
約41%が薬剤使用基準をもとに
保湿薬物療法を行っている

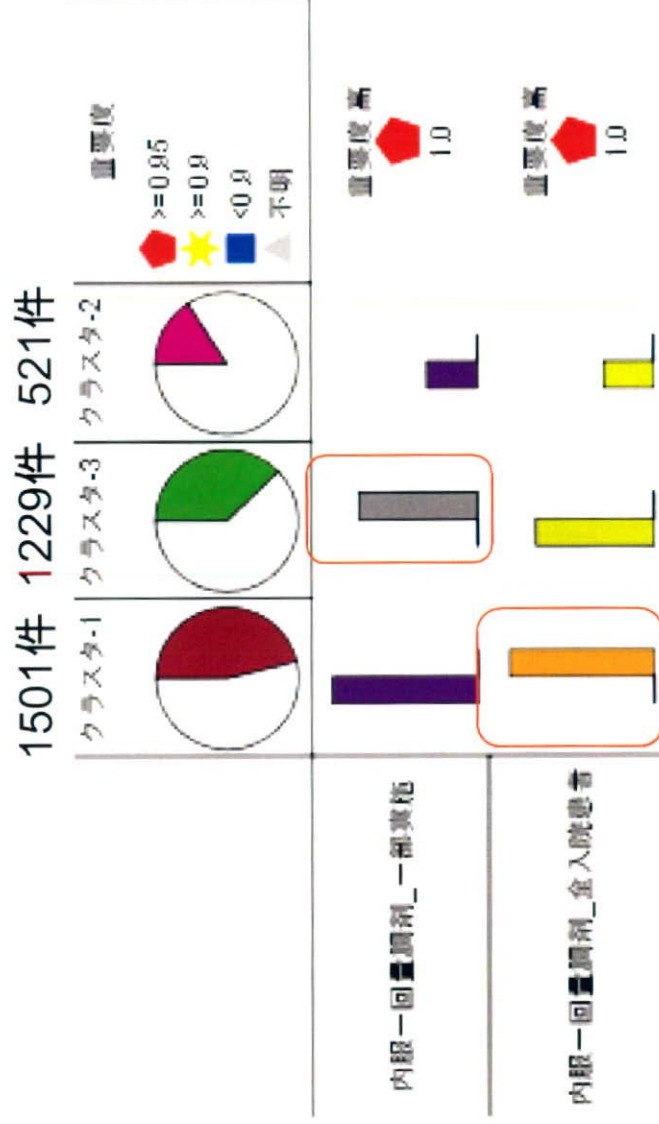
理解力や身体機能低下のある患者への服薬指導

半数弱は、認知症や身体機能低下のある患者に対する対応をしていないが、2割程度が両者への対応を行い、患者に関する状況をチームで共有している



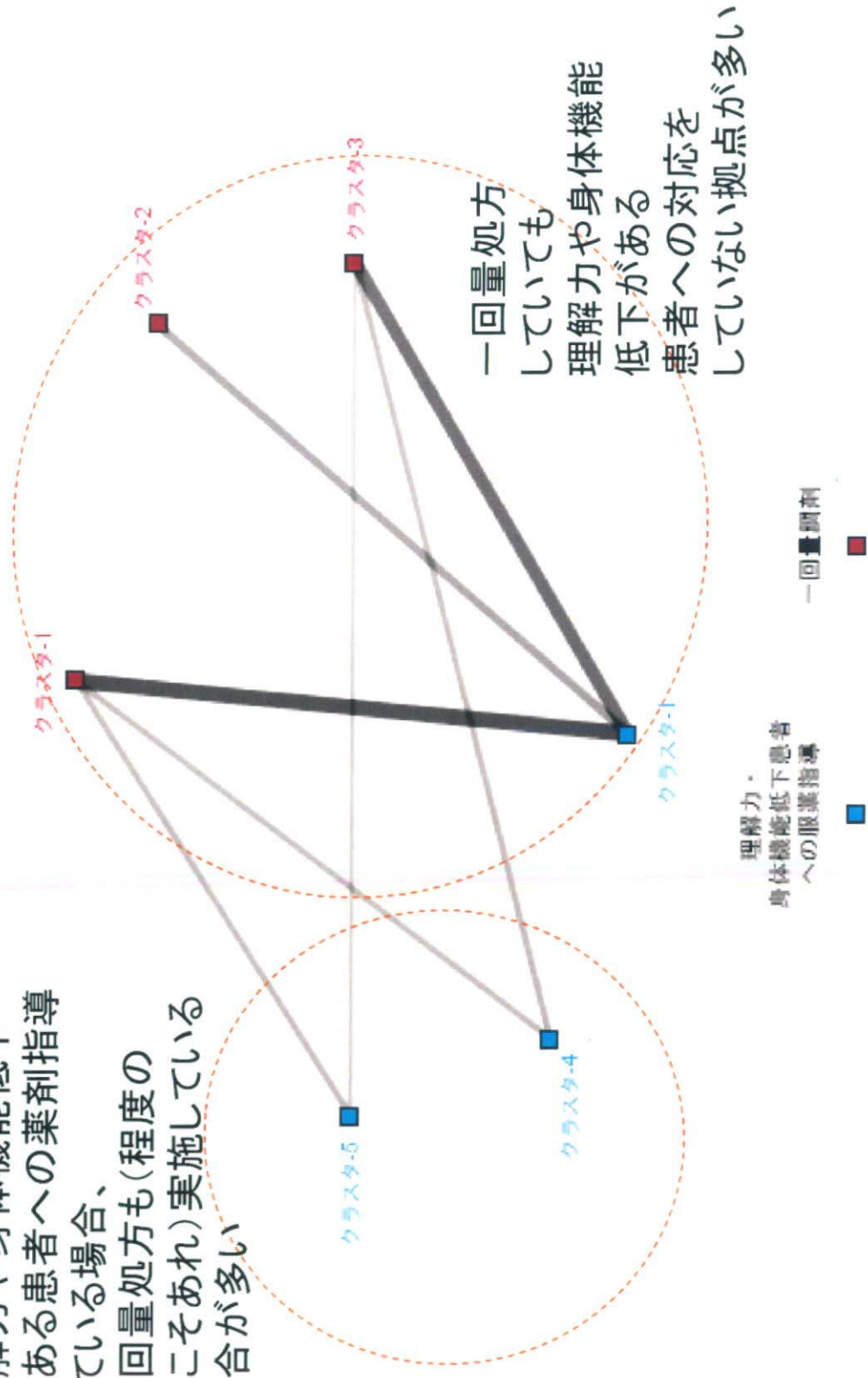
内服薬の一回量調剤

約43%が全入院患者に対して内服薬の一回量調剤を実施し、
約35%で一部の入院患者に対し実施している



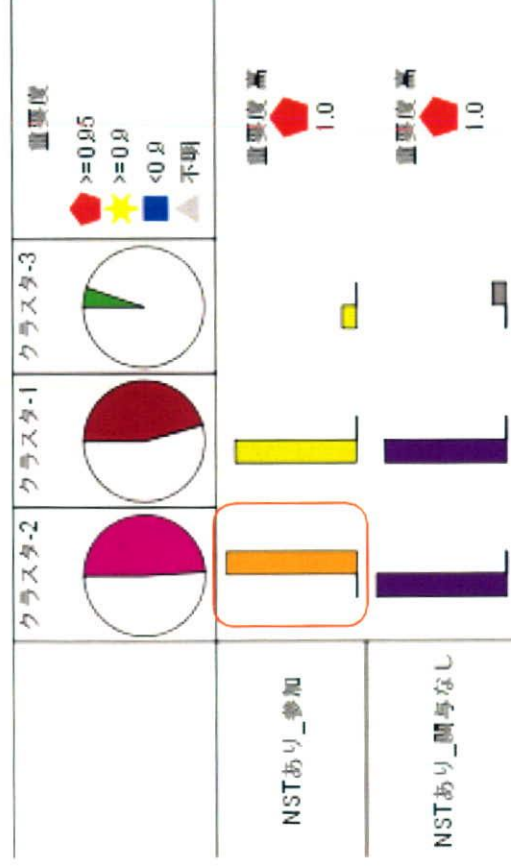
理解力や身体機能低下のある患者への服薬指導と内服薬一回処方の関係

理解力や身体機能低下がある患者への薬剤指導している場合、一回量処方も(程度の差こそあれ)実施している場合が多い



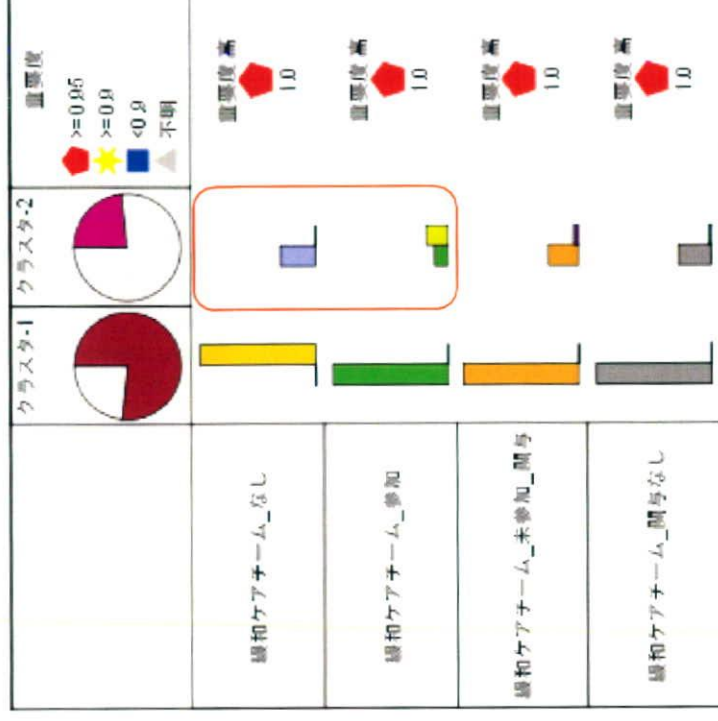
栄養サポートチームおよび緩和ケアチーム

1593件 1486件 172件



約45%が栄養サポートチームに参加

2494件 757件



約21%が緩和ケアチームを持つ
(うち約61%が参加)

夜間体制をもつ病院件数

宿直・居残り・OnCall体制をとっている病院件数

夜間体制_宿直_Sum	夜間体制_一部宿直_Sum	夜間体制_居残り_Sum	夜間体制_OnCall_Sum	Record_Count
564.000	89.000	370.000	1030.000	3252

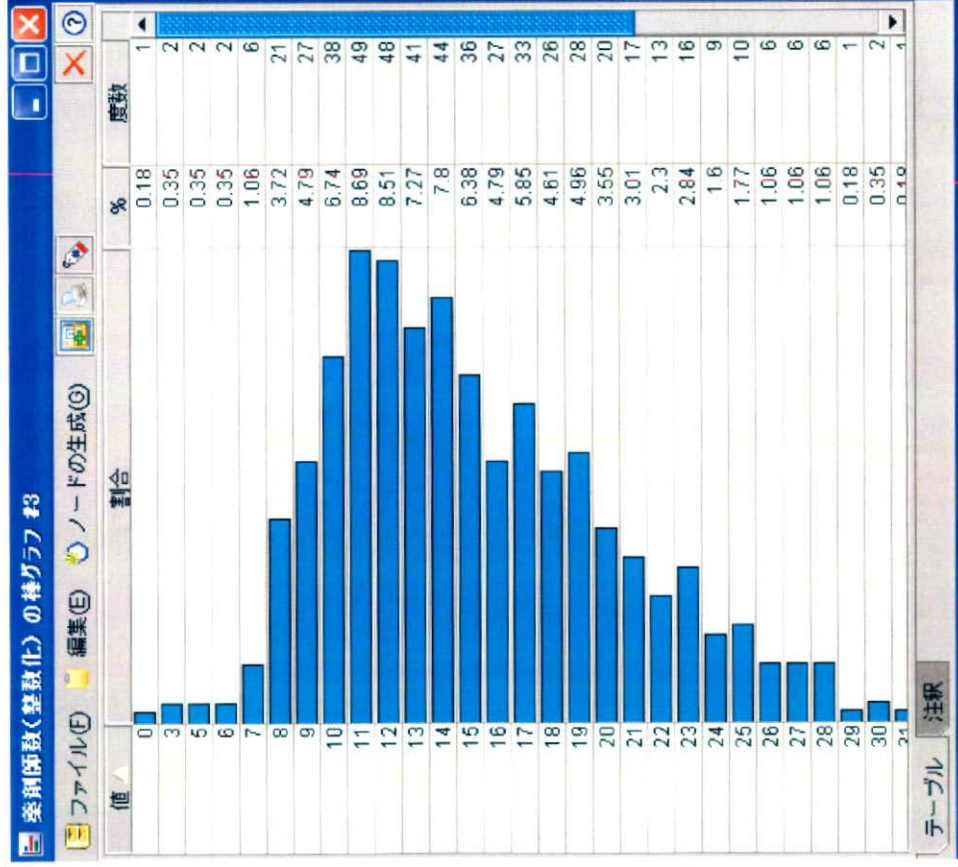
夜間体制をもつ病院の17%ほどが宿直を実施している。

宿直・居残り・OnCall体制をとっている病院件数(3次救急病院限定)

夜間体制_宿直_Sum	夜間体制_一部宿直_Sum	夜間体制_居残り_Sum	夜間体制_OnCall_Sum	Record_Count
104.000	5.000	37.000	20.000	166

3次救急に限定すると62%ほどが宿直を実施している。

夜間宿直がいる場合の薬剤師数分布



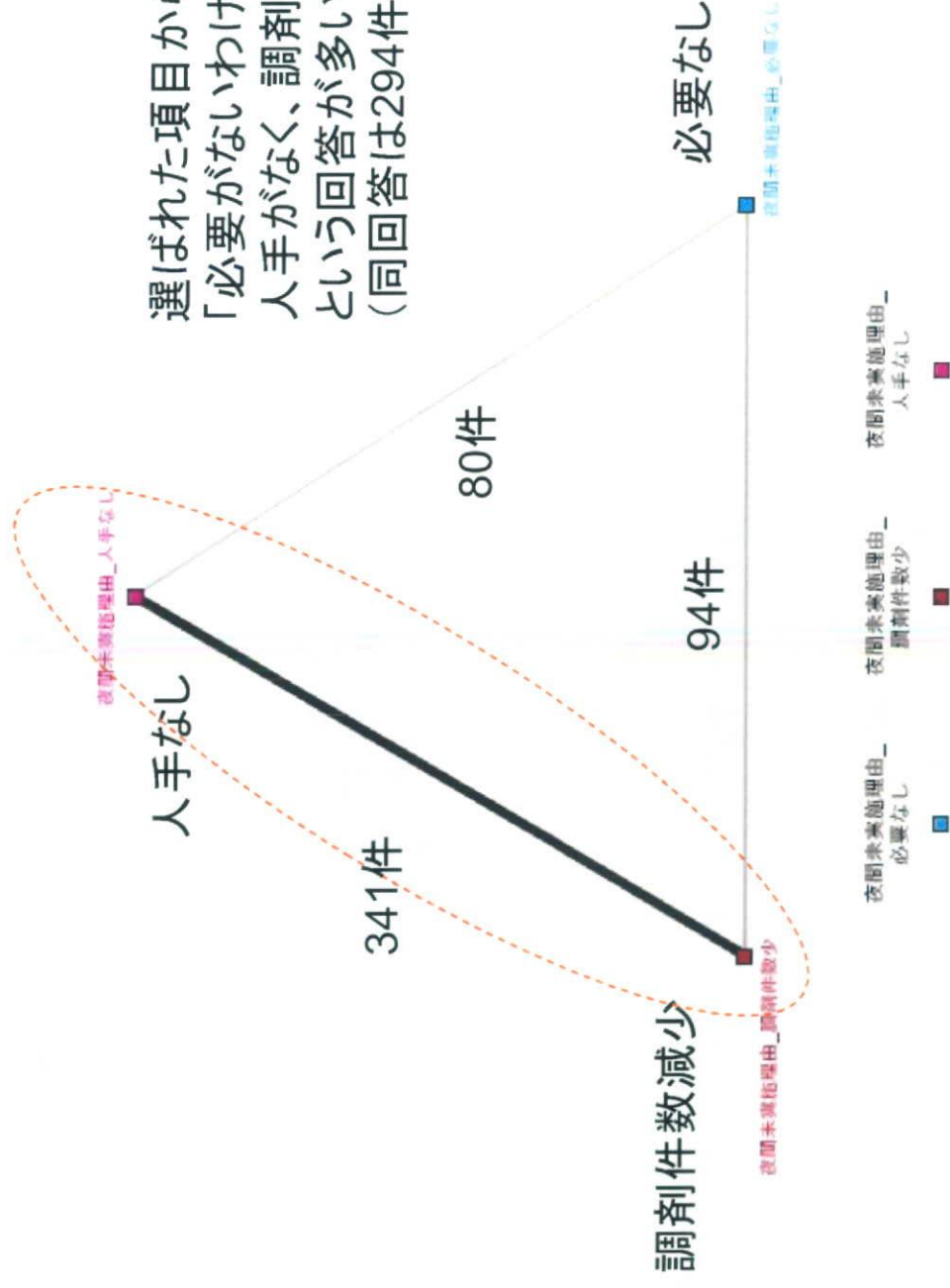
夜間に当直を置いている
病院には
約10人以上の薬剤師がいる
場合が多い



夜間に当直をおく場合、
十分機能するためには
10人以上の薬剤師が
必要であると予想される

夜間体制未実施理由の組み合わせ

選ばれた項目から、
「必要がないわけではないが
人手がなく、調剤件数も減少している」
という回答が多いという傾向がみられる。
(同回答は294件)

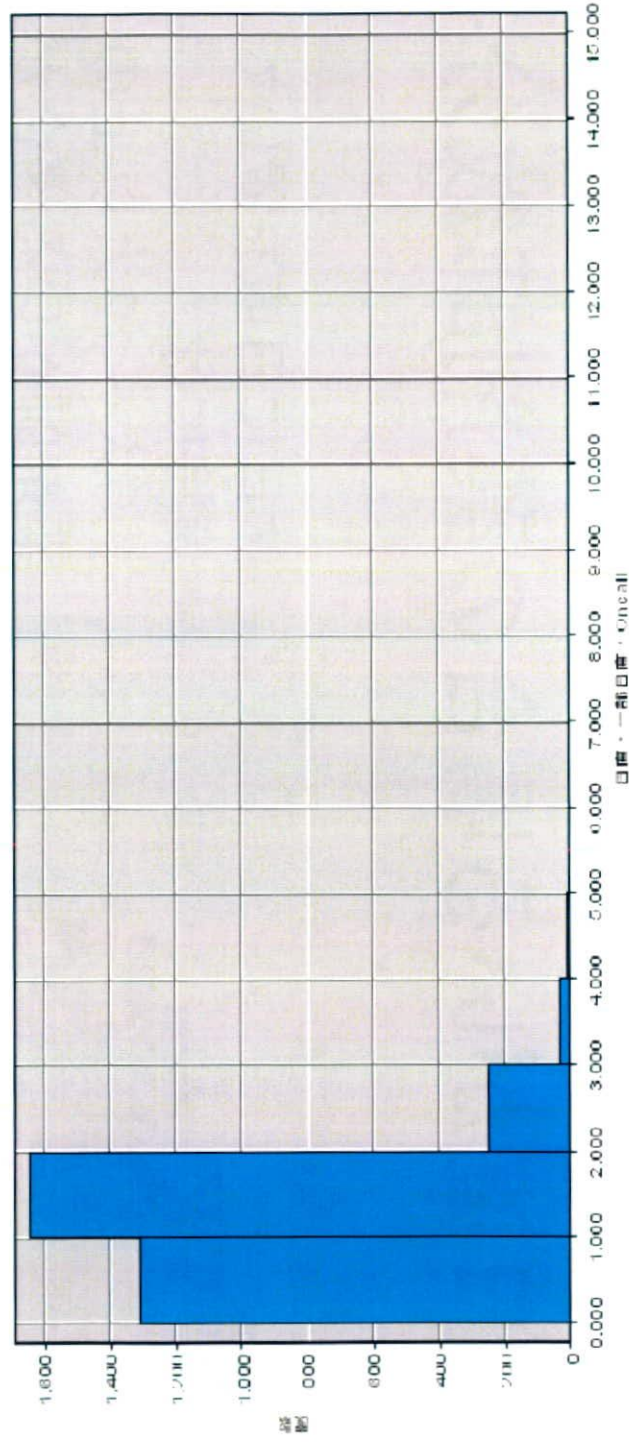


休日体制

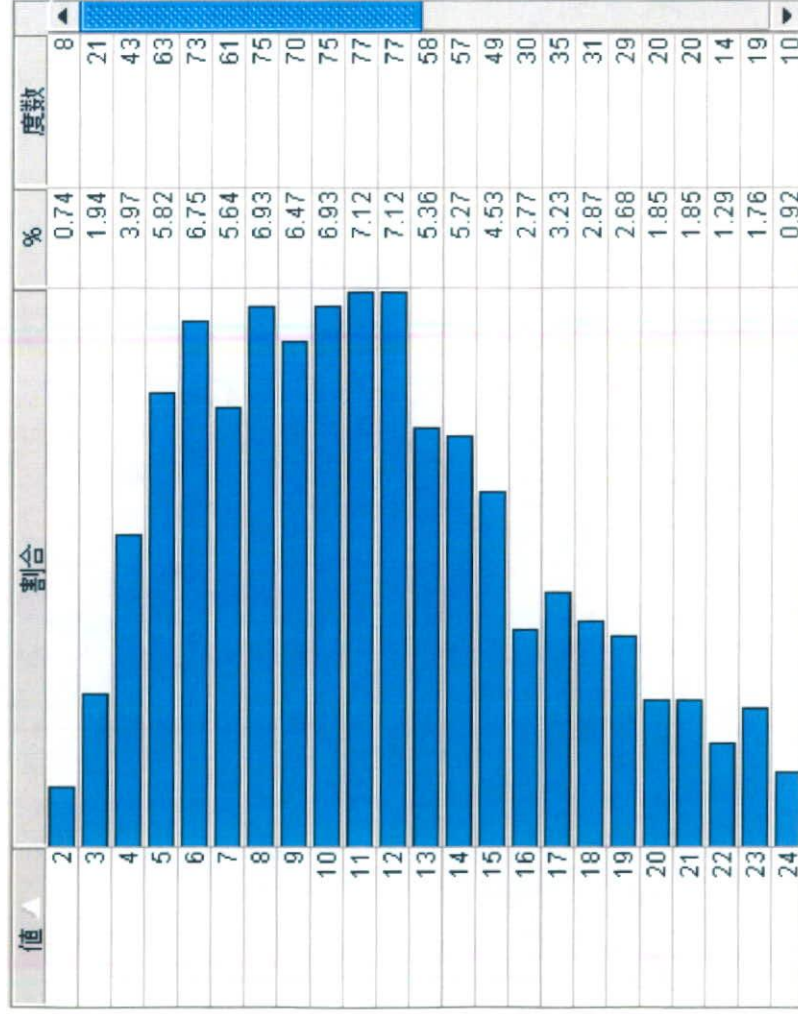
日直・半日日直・OnCall体制をとっている病院件数

	休日体制_日直_Sum	休日体制_半日日直_Sum	休日体制_OnCall_Sum	Record_Count
1	1082.000	190.000	813.000	1945

休日体制をもつ病院の56%ほどが日直を実施している。
日直、半日日直またはOnCallには計1人程度がアサインされていることが多い



休日日直がいる場合の薬剤師数分布



休日に日直を置いている
病院には
約6人～12人以上の
薬剤師がいる場合が多い



休日に日直をおく場合、
十分機能するためには
6人以上の薬剤師が
必要であると予想される